

# 畜産ニュース

## ◎フタのセリ市を開催計画 (県総合畜連)

岡山県総合畜連では、毎月つぎの計画で子ブタセリ市を開催する。同連では、希望によっては購買斡旋も行い、子ブタ購入希望者の来場のぞんでいる。

なお久世家市場で行なわれた6月・7月のブタセリ市場成績はつぎのとおりであった。

市場名	期日	出頭数
赤磐郡瀬戸町 瀬戸家畜市場	毎月10日	300頭
真庭郡久世町 久世家畜市場	毎月26日	300頭
勝田郡勝央町 勝間田家畜市場	毎月3日	100頭

月日	市場開設			性別	入場頭数	売買頭数	本人取頭数	取引価格		備考
	オス	メス	メス					最高	最低	
六月十八日	オス 七	メス 一六	メス 一八		七	一〇	二	八、〇〇〇	一、〇〇〇	三、六〇〇
七月十八日	オス 四	メス 五	メス 七		四	五	一	六、一〇〇	一、〇〇〇	三、七〇〇

(注) 回を重ねるにしたがい出場豚の品質が次第に揃い価格は上向きの傾向をみせている。

大阪に事務所をもつ、全国の都道府県関係者によって組織されている在阪都道府県協議会では、最近の畜産物の流通消費の拡大から、このほど畜産部会を設けることになり、さる、7月20日、17府県の関係者が出席して大阪市の徳島ビルで設立総会を開き、会則の決定、役員を選出などを行った。

そして今後はこれによって、相互のつながりを密にして共通な事項の実施をすすめ、つぎのような事業を通じて、畜産事業の伸展に寄与していくことにしています。

なお、役員として浜田庄二鳥取県大阪物産斡旋所長が部会長に、中国地区代表幹事として、岡山県大阪経済事務所駐在の題府優技師が決まった。

事業計画事項としては

- (1) 畜産物流通問題の推進
- (2) 畜産物市場および市況に関する調査
- (3) 関係官庁ならびに業界との懇談
- (4) 講習、講話、研究会、視察等による研修、その他となっている。

## ◎全販連種鶏場等の設置をきめる

全販連は本年4月に決めた畜産事業方策にもとづき、関連直営の種豚場を茨城県筑波郡谷田部町へ、種鶏場を滋賀県八日市市へ、また食鶏荷受け施設を東京、大阪、名古屋、小倉の4カ所に設置することに決定、土地の買収などの建設の準備をすすめている。

## ◎和牛増産の研究大会和牛試開催

岡山県、岡山県総合畜連が主催して、8月29・30の両日、「和牛増産にともなう指導体制強化研究大会」が、新見市の県和牛試験場で開かれる。

これは、和牛の肉畜としての需要増大に対して、速やかに積極的な増産対策を講ずる必要があるとして、そのために和牛の経営、生産改良、肥育、消費流通などの部門に分けて、岡山県として具体的な対策を研究しようというもの。

これには、県関係各機関の技術者、畜連、市町村、農協の関係者が参加して、第一線の和牛指導者の部門別の研究発表と、それについての討論、さらに和牛専門家の指導や懇談などを行う。

## ◎畜産部会を設ける在阪 都道府県協議会

## 岡山畜産便り 1961.08

研究項目ならびに研究発表者はつぎのとおり。

### 〔経営の部〕

(1) 多頭飼育を進めるための諸条件(勝山普及所 池田朝則) (2) 農家経営規模別の和牛経営の在り方(総合畜連津山支所 三木林平) (3) 肥育経営の採算点(賀陽普及所 石井清志)

### 〔生産改良の部〕

(1) 生産基地設定の条件と育成方法について(阿哲畜連 石垣堅固) (2) 生産倍増のための具体的方途(刑部家畜保健衛生所 大森忠逸) (3) 本県産牛改良の方途(全国和牛登録協会県支部 柳井知道)

### 〔肥育の部〕

(1) 素牛の育成確保対策について(総合畜連高梁支所 高木加男留) (2) 肉牛の飼養標準と普及方法(総合畜連指導課 安東秀豊)

### 〔消流の部〕

(1) 県営食肉市場設置に伴う肉畜取引の在り方

(県畜産課 片山登喜夫) (2) 和牛の共販体制の推進方法(総合畜連市場課 松葉重雄)